

町会活動に関するアンケート調査 (市民) 報告書【単純集計】

本報告書は、平成23年11月9日現在の八尾市町会加入促進
検討会議用資料として、作成したものです。

<<目次>>

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査の実施状況	1
(4) 調査期間	1
(5) 回収状況	1
II. 集計結果	2
1. お住まいの地域(町会)の特徴について	2
(1) お住まいの地域の特徴	2
2. 近隣の方とのつきあいの状況について	4
(1) 近隣の方とのつきあいの程度	4
(2) 大規模な災害が起こった時などの近隣の方との助け合いについて	4
(3) 東日本大震災を受けた近隣とのつきあいについての考えについて	5
3. 町会活動の認知状況について	6
(1) 町会(町内会、自治会など)が結成されていることの認知状況	6
(2) 地域活動の認知度	7
(3) テーマ毎に行われている地域活動の認知度	8
4. 町会への加入状況について	8
(1) 町会への加入状況	8
(2) 町会に加入したきっかけ(複数回答)	9
(3) 途中から町会に加入したきっかけ(複数回答)	9
(4) 町会からの情報伝達における課題(複数回答)	10
(5) 町会に加入して良かったと思うこと(複数回答)	11
(6) 町会活動の現状についての考え	12
(7) 町会加入の継続意向について	13
(8) 町会から退会した理由(複数回答)	14
(9) 町会に加入していない理由(複数回答)	15
5. これからの町会活動の活発化に向けて	16
(1) 今後の町会が担う役割について	16
(2) 住民と行政の関係のあり方	16
(3) 様々な地域のまちづくり活動への参加・協力について	17
(4) 高齢者の世帯への配慮についての考え方	18
(5) 町会活動をより良くしていくために必要な活動(複数回答)	18
(6) 町会加入促進のために必要な行政の取り組み(複数回答)	19
(7) 地域のまちづくり活動を活発にするために必要な取り組み(複数回答)	20
(8) 町会への加入・再加入の意向について	21

6. 回答者の属性	22
(1) 性別・年代	22
(2) 職業	22
(3) 現在の地域(小学校区)での居住年数について	23
(4) 現在の住居の種類について	23
(5) お住まいの小学校区について	24

解説

<町会長・自治振興委員アンケート>とは・・・

八尾市における町会活動や町会加入促進活動の現状と課題を把握し、町会のあり方について検討を行う際の参考資料とするため、八尾市町会長・自治振興委員808人を対象に、調査を行ったものです。(有効回答率：99.8%)

Ⅰ. 調査の概要

1. 調査の目的

八尾市における町会活動や町会加入状況の現状と課題を把握し、今後の町会活動のあり方について検討を行う際の参考資料とする

2. 調査の方法

(1) 調査対象

八尾市在住の20歳以上の男女2,000名。(無作為抽出)

(2) 調査方法

郵送による配布・回収。

(3) 調査の実施状況

状況	件数	備考
配布数	2,000	
有効回答数	896	有効回答率：44.8%

(4) 調査期間

平成23年9月22日～平成23年10月5日

(5) 回収状況

「N =」は、当該質問の回答者数を表しており、パーセントを算出する時の母数である。なお、集計に当たっては、小数点第2位以下を四捨五入しているため、パーセントの合計は必ずしも100%にならない場合もある。

また、複数回答の質問では、パーセントの合計は100%を超える。

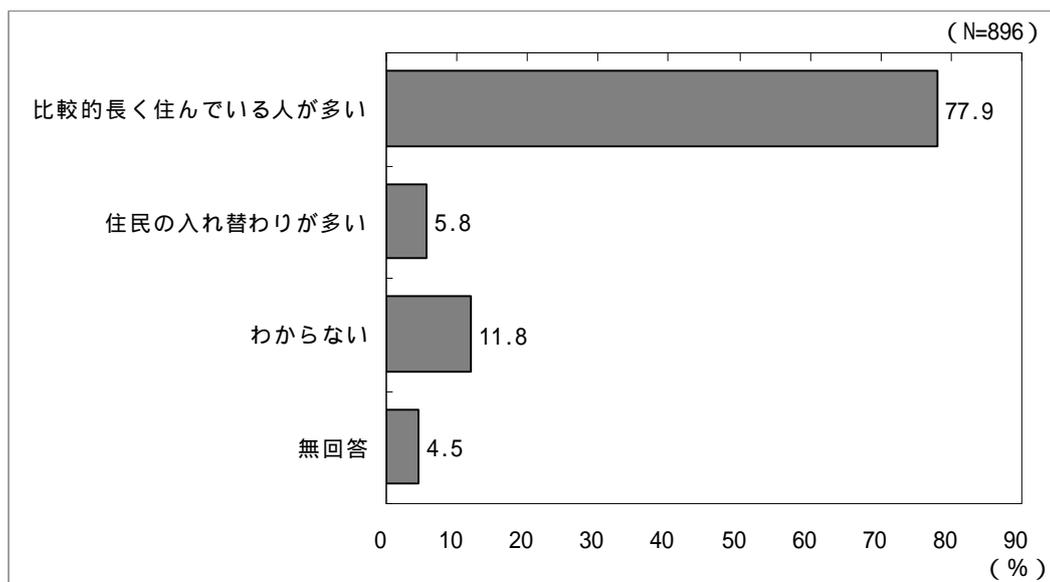
II. 集計結果

1. お住まいの地域（町会）の特徴について

(1) お住まいの地域（町会）の特徴

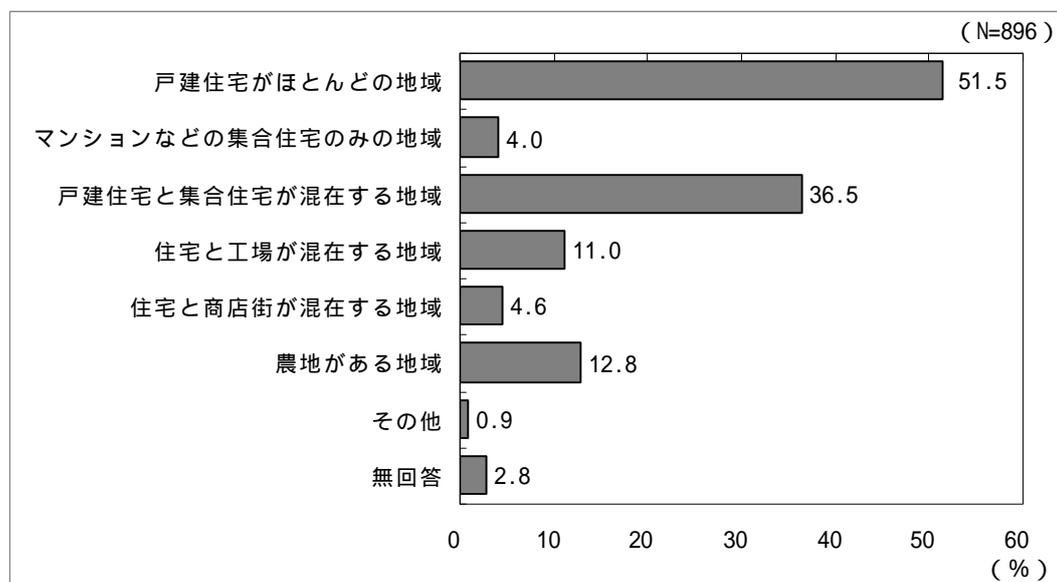
a) 住民の居住年数の特徴

・「比較的長く住んでいる人が多い」が77.9%で最も多い。



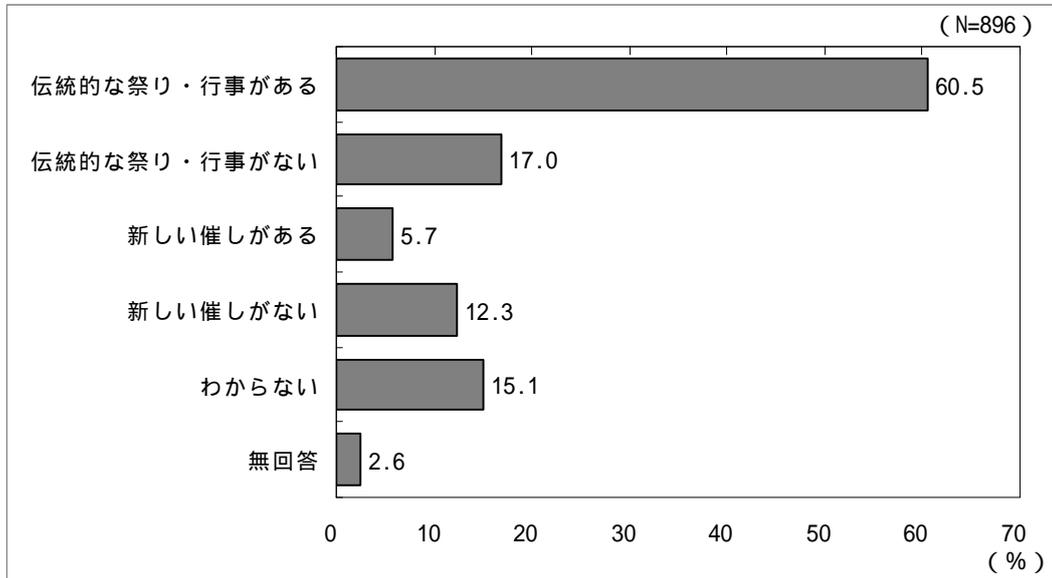
b) 地域の特徴（複数回答）

・「戸建住宅がほとんどの地域」が51.5%で最も多く、ついで、「戸建住宅と集合住宅が混在する地域」が36.5%となっている。



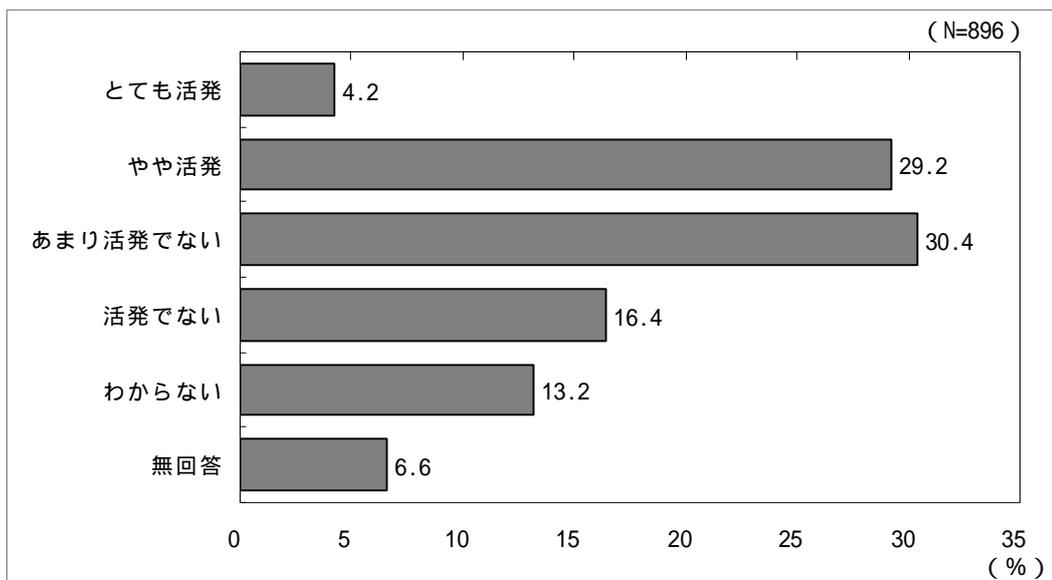
c) 祭りや行事（複数回答）

・「伝統的な祭り・行事がある」が60.5%で最も多く、ついで「伝統的な祭り・行事がない」が17.0%、「わからない」が15.1%、「新しい催しがない」が12.3%となっている。



d) 住民同士の交流

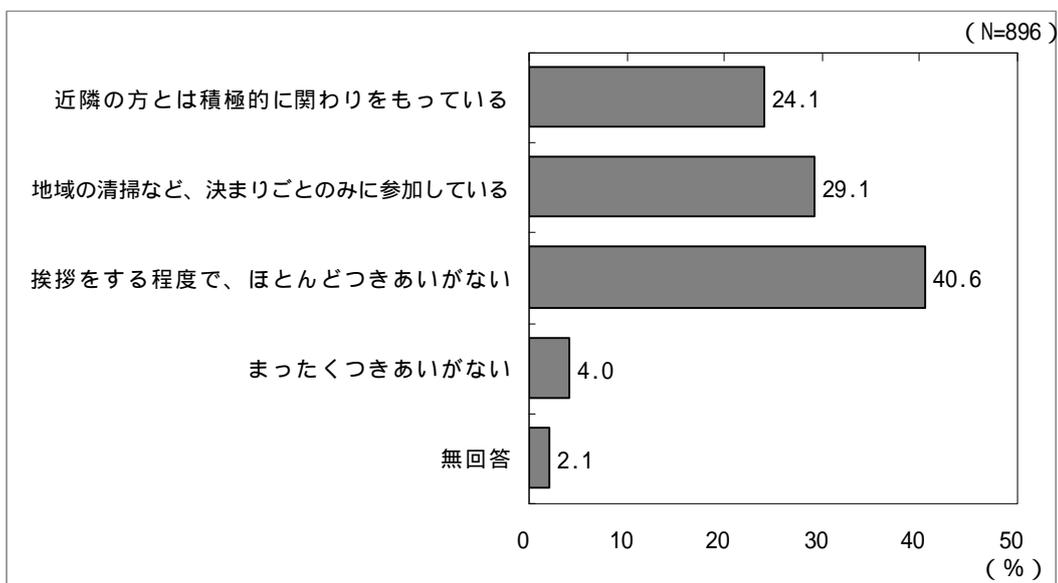
・「あまり活発でない」が30.4%で最も多く、ついで「やや活発」が29.2%、「活発でない」が16.4%、「わからない」が13.2%となっている。



2. 近隣の方とのつきあいの状況について

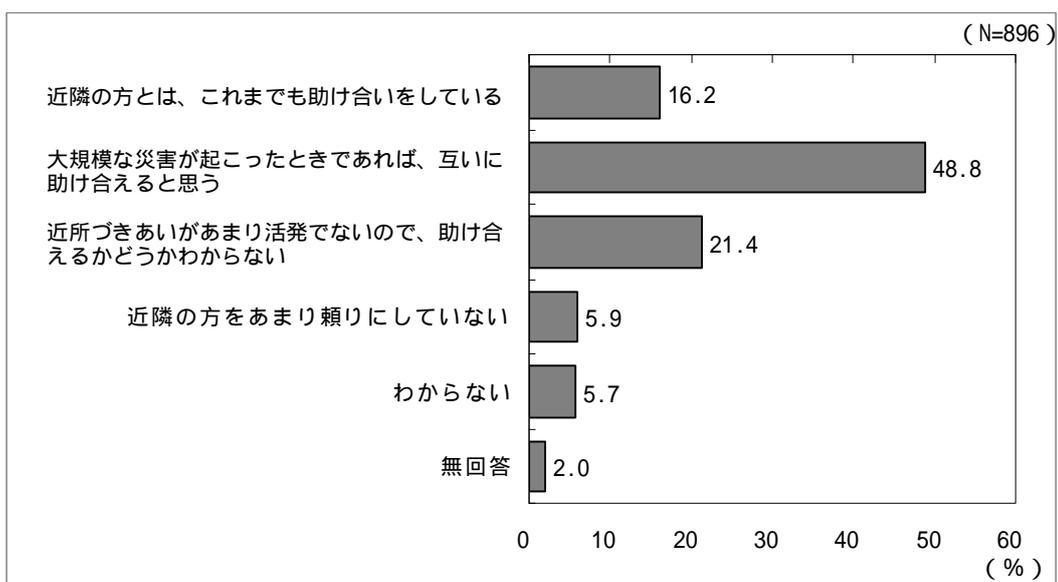
(1) 近隣の方とのつきあいの程度

- ・「挨拶をする程度で、ほとんどつきあいが無い」が40.6%で最も多く、ついで「地域の清掃など、決まりごとのみに参加している」が29.1%、「近隣の方とは積極的に関わりをもっている」が24.1%となっている。



(2) 大規模な災害が起こった時などの近隣の方との助け合いについて

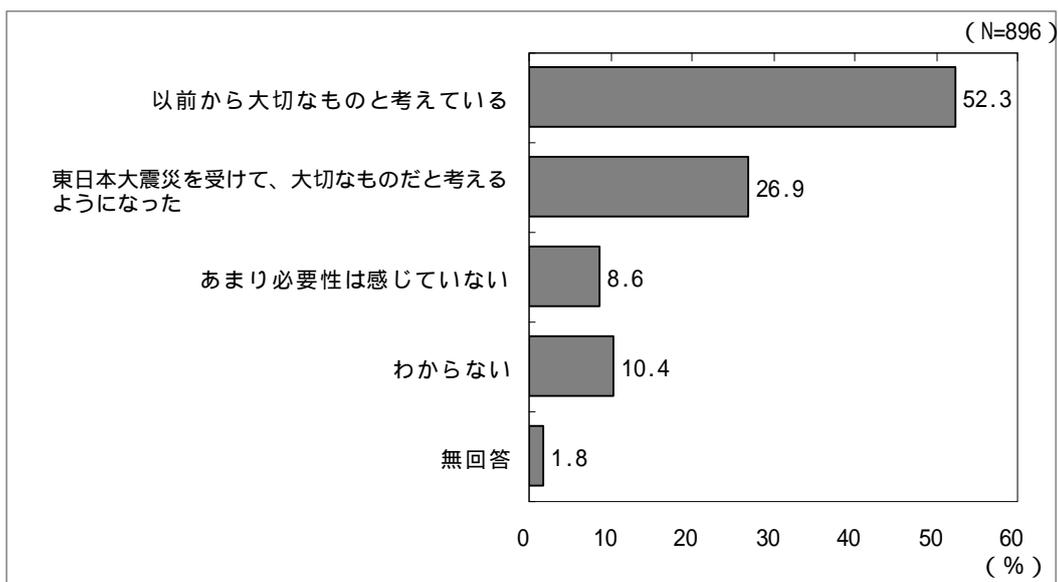
- ・「大規模な災害が起こったときであれば、互いに助け合えると思う」が48.8%で最も多く、ついで「近所づきあいがあまり活発でないので、助け合えるかどうか分からない」が21.4%となっている。



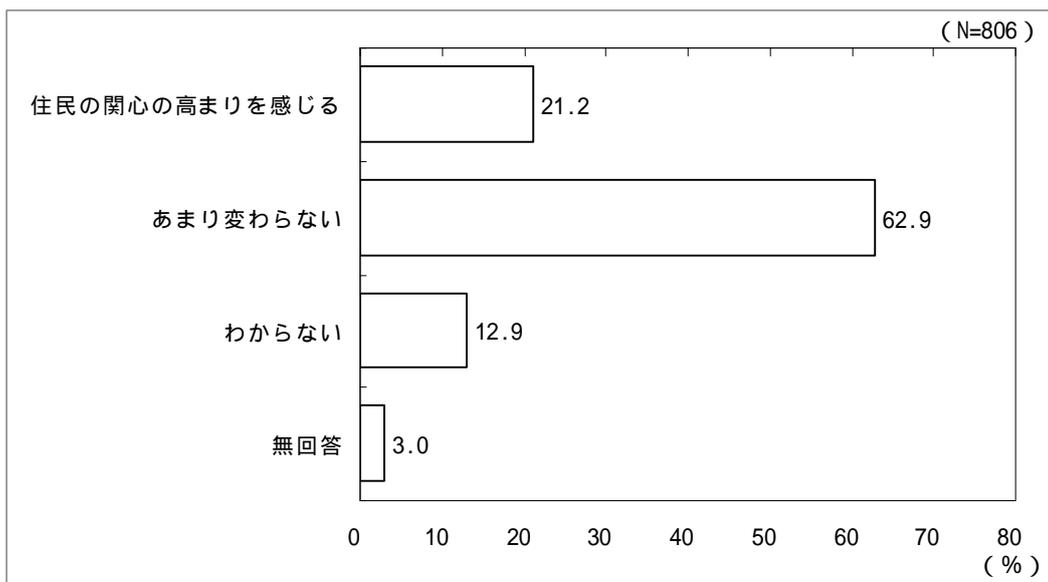
(3) 東日本大震災を受けた近隣とのつきあいについての考えについて

- ・ 「以前から大切なものと考えている」が52.3%で最も多く、ついで「東日本大震災を受けて、大切なものだと考えるようになった」が26.9%となっている。
- ・ 町会長・自治振興委員アンケートでは、東日本大震災をきっかけとした住民の町会活動への関心の変化について、住民の関心の高まりを感じるとの回答が26.9%となっている。

【市民】



(参考) 【町会長・自治振興委員】

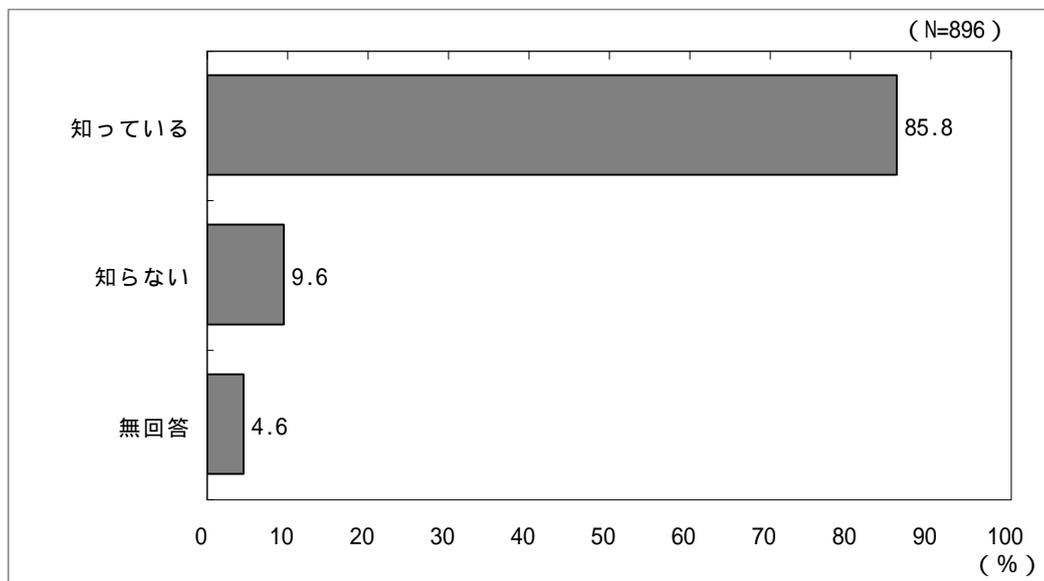


(注)町会長・自治振興委員アンケートでは、「東日本大震災をきっかけとして、住民の町会活動への関心に変化はありますか」と尋ねている。

3. 町会活動の認知状況について

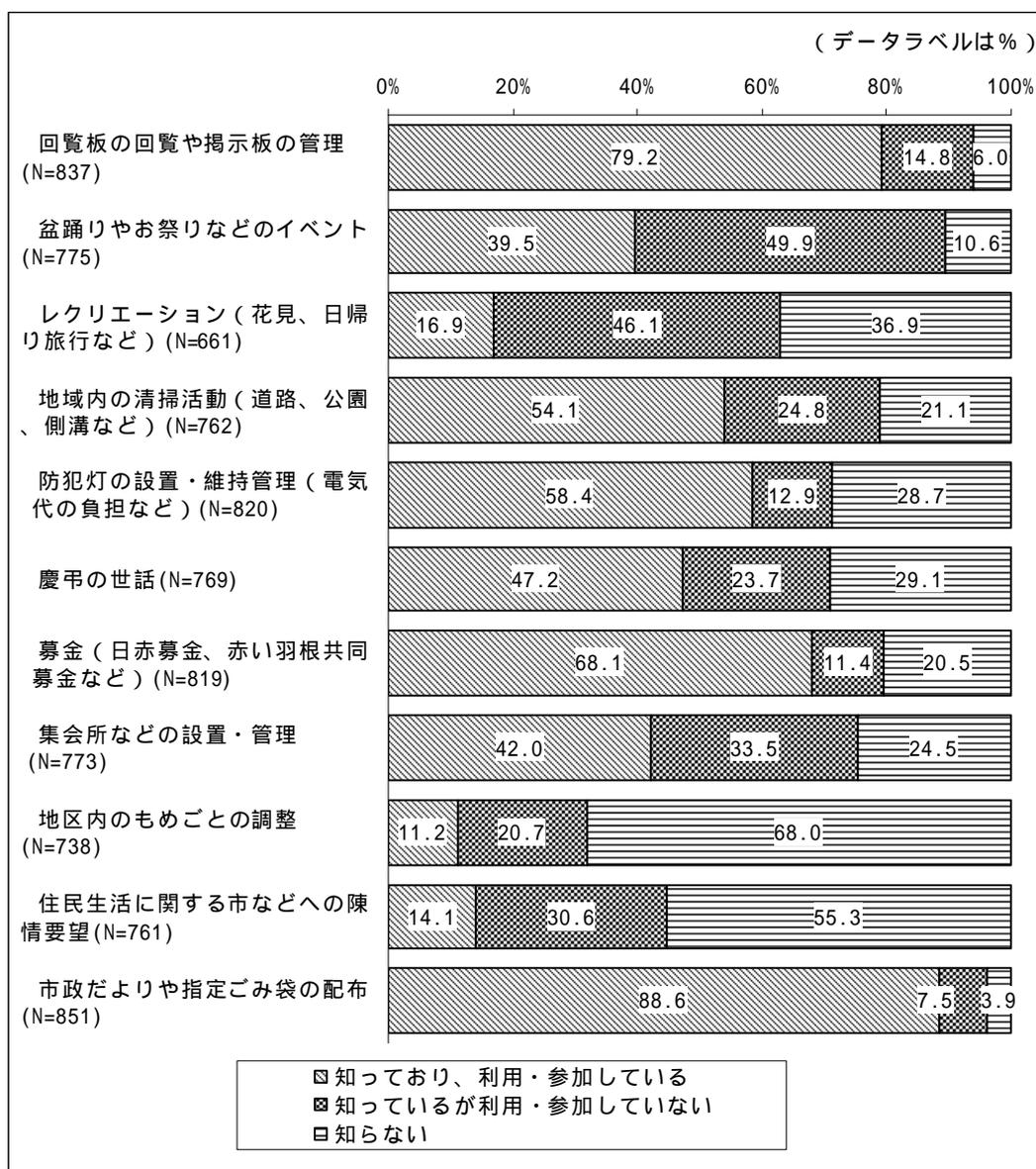
(1) 町会(町内会、自治会など)が結成されていることの認知状況

- ・「知っている」が85.8%で最も多く、ついで「知らない」が9.6%となっている。



(2) 町会での活動の認知度

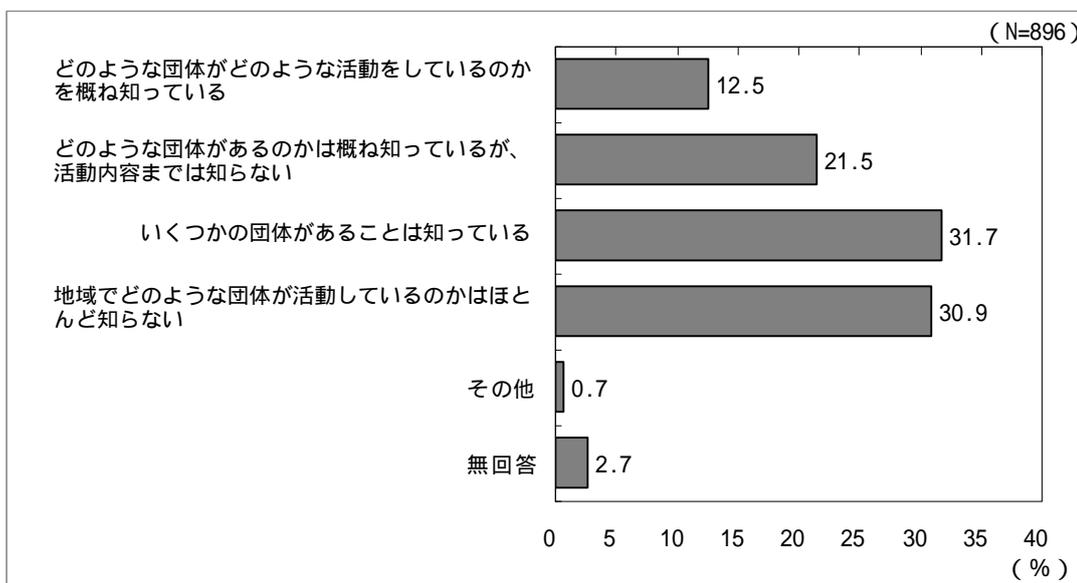
- ・ 地域活動の認知度（「知っており、利用・参加している」と「知っているが利用・参加していない」の合計）が最も多かったのは、「市政だよりや指定ごみ袋の配布」で96.1%（88.6%+7.5%）、ついで「回覧板の回覧や掲示板の管理」で94.0%（79.2%+14.8%）、「盆踊りやお祭りなどのイベント」で89.4%（39.5%+49.9%）となっている。
- ・ 地域活動の参加状況が最も高かったのは、「市政だよりや指定ごみ袋の配布」で88.6%、ついで「回覧板の回覧や掲示板の管理」で79.2%、「募金（日赤募金、赤い羽根共同募金など）」で68.1%となっている。
- ・ 「盆踊りやお祭りなどのイベント」や「レクエーション」は認知度に比べて参加状況が低い。



(注)割合は、「地元では該当する活動をしていない」と無回答を除いて算出。

(3) 町会活動に加え、テーマごとに行われている地域活動の認知度

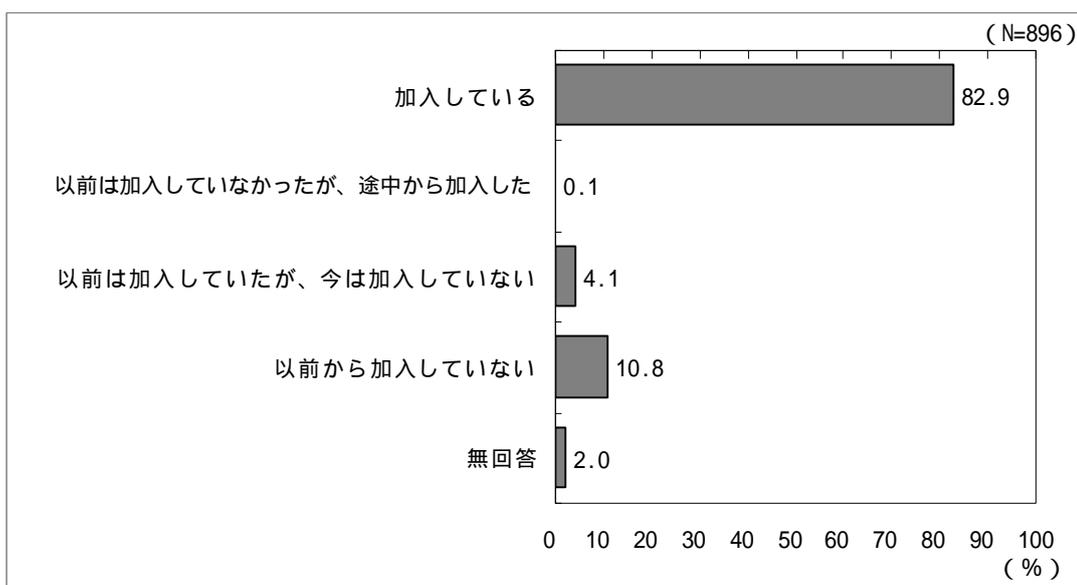
・「いくつかの団体があることは知っている」が31.7%で最も多く、ついで「地域でどのような団体が活動しているのかはほとんど知らない」が30.9%、「どのような団体があるのかは概ね知っているが、活動内容までは知らない」が21.5%となっている。



4. 町会への加入状況について

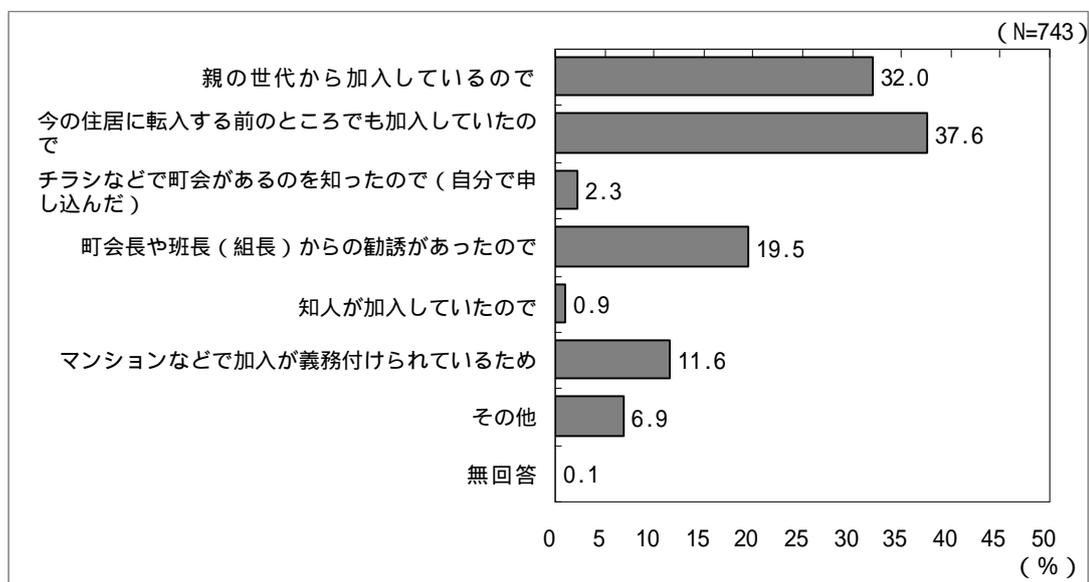
(1) 町会への加入状況

・「加入している」が82.9%で最も多く、ついで「以前から加入していない」が10.8%となっている。



(2) 町会に加入したきっかけ(複数回答)

- ・「今の住居に転入する前のところでも加入していたので」が37.6%で最も多く、ついで「親の世代から加入しているのが」が32.0%、「町会長や班長(組長)からの勧誘があったので」が19.5%となっている。



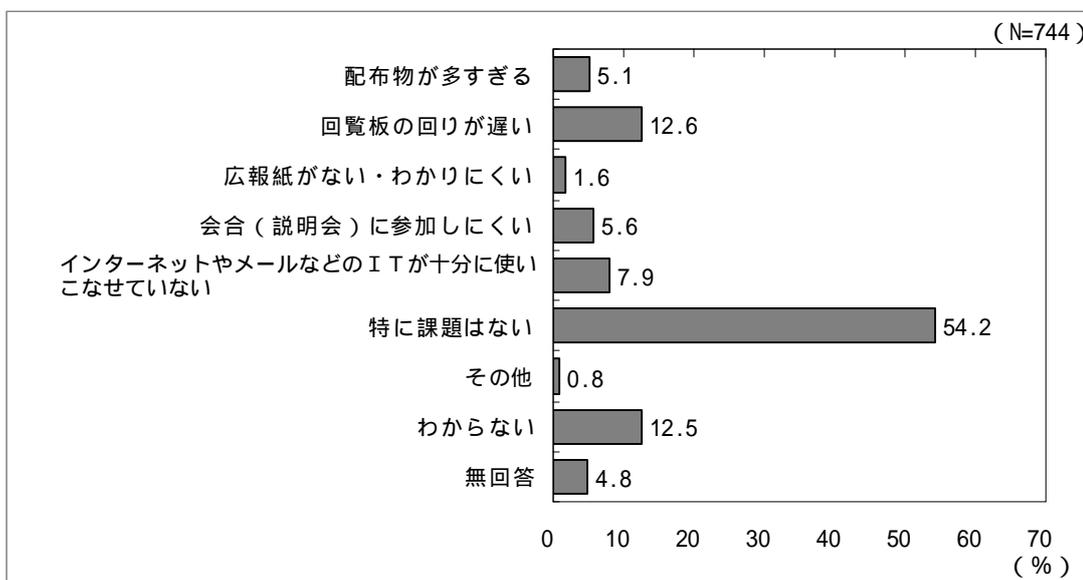
(3) 途中から町会に加入したきっかけ(複数回答)

- ・「災害報道などをみて、必要性を感じたので」という回答があった。(N=1)

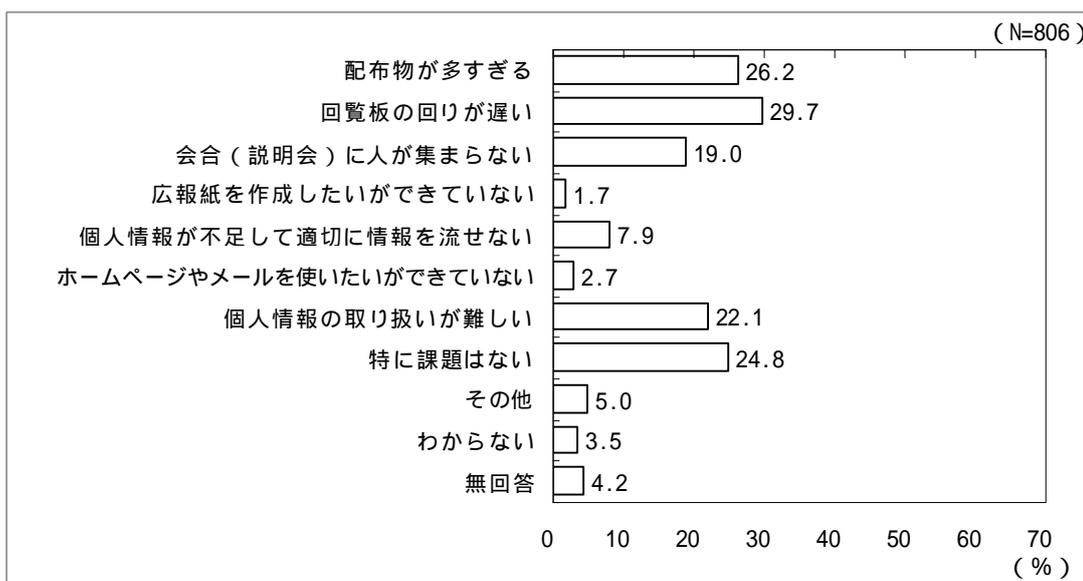
(4) 町会からの情報伝達における課題（複数回答）

- ・ 「特に課題はない」が54.2%で最も多く、ついで「回覧板の回りが遅い」が12.6%、「わからない」が12.5%となっている。
- ・ 町会長・自治振興委員アンケートでは、市民アンケートで割合が高い「特に課題はない」が24.8%となっており、一方で、「回覧板の回りが遅い」が29.7%、ついで「配布物が多すぎる」が26.2%、「個人情報の取り扱いが難しい」が22.1%、「会合（説明会）に人が集まらない」が19.0%となっている。

【市民】

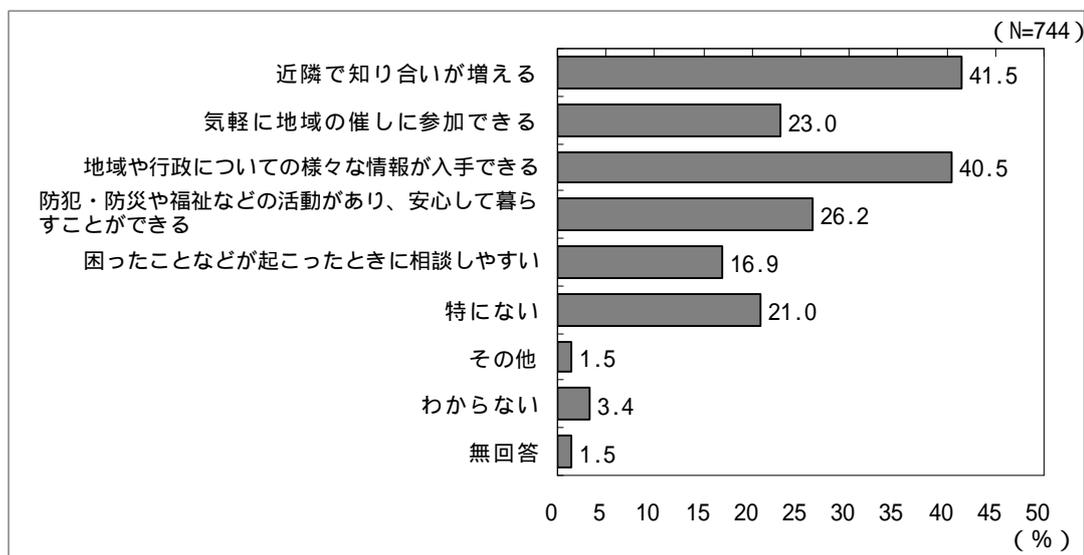


(参考) 【町会長・自治振興委員】



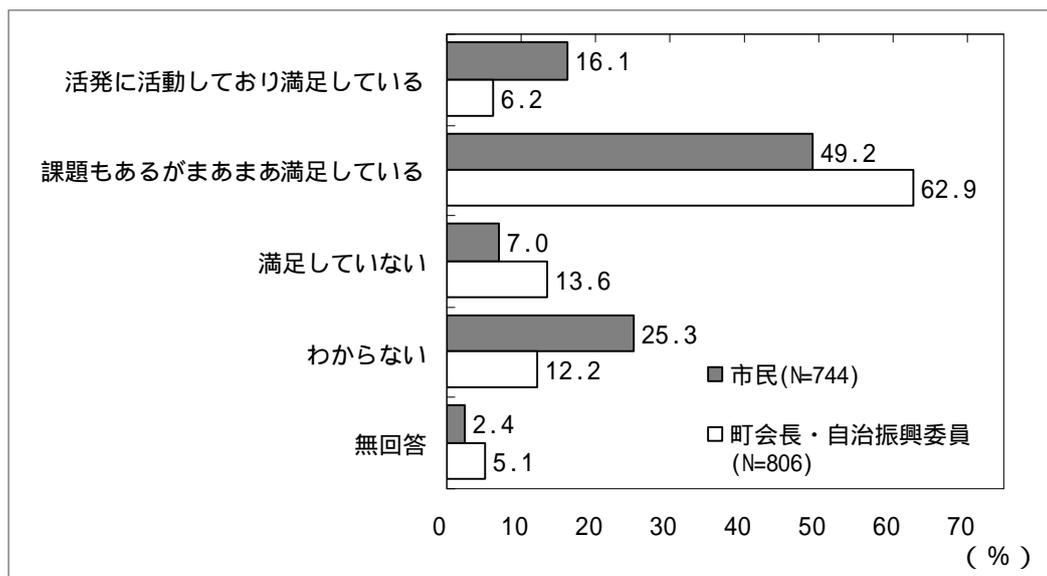
(5) 町会に加入して良かったと思うこと(複数回答)

・「近隣で知り合いが増える」が41.5%と最も多く、ついで「地域や行政についての様々な情報が入手できる」が40.5%、「防犯・防災や福祉などの活動があり、安心して暮らすことができる」が26.2%となっている。



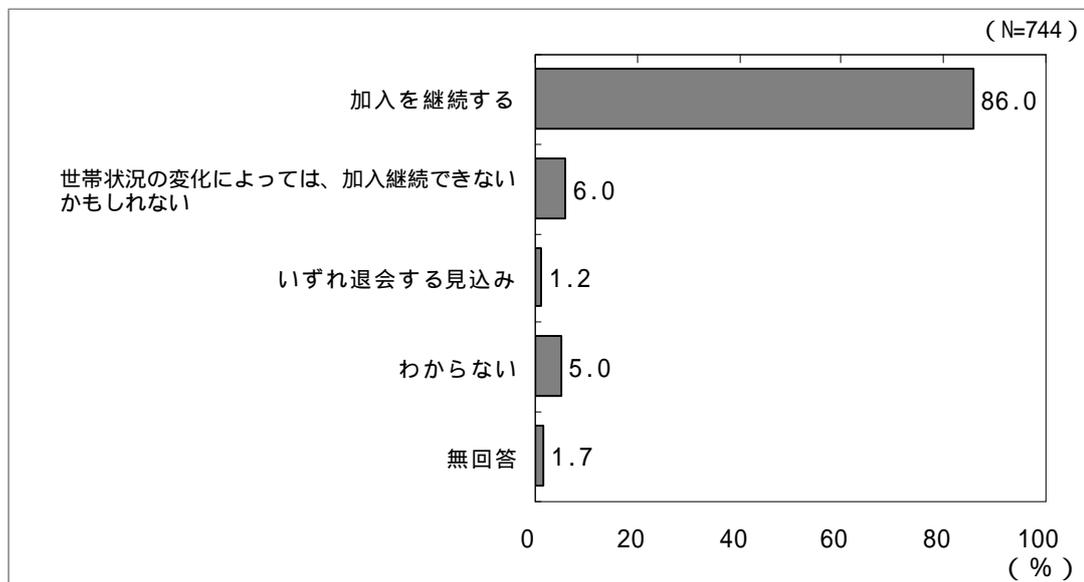
(6) 町会活動の現状についての考え

- ・ 「課題もあるがまあまあ満足している」が49.2%と最も多く、ついで「わからない」が25.3%、「活発に活動しており満足している」が16.1%となっている。
- ・ 町会長・自治振興委員アンケートでは、市民アンケートで割合が高い「活発に活動しており満足している」が6.2%と少なくなっており、一方で、「満足していない」が13.6%で市民アンケートよりも多くなっている。



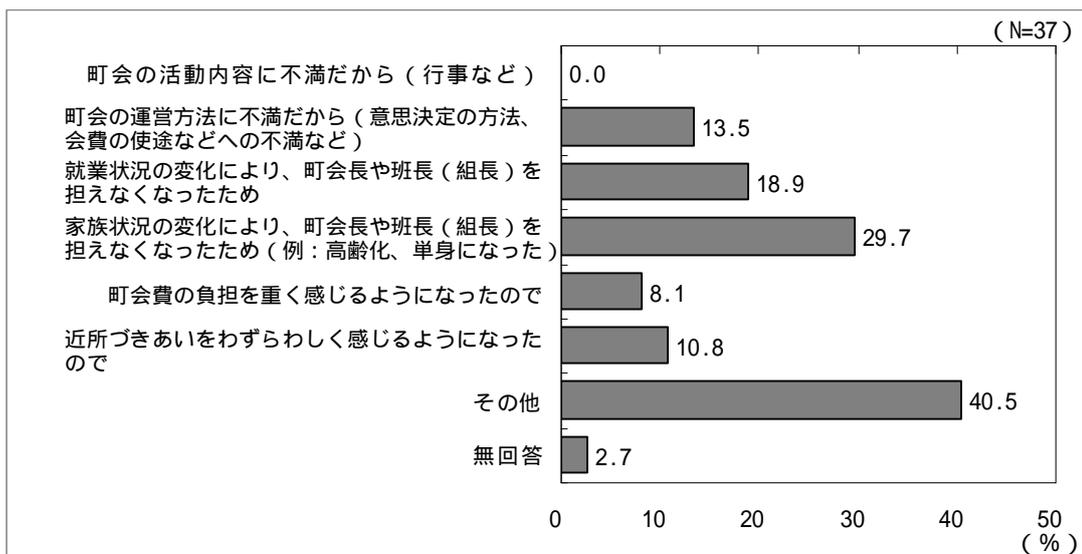
(7) 町会加入の継続意向について

- ・「加入を継続する」が86.0%と最も多く、ついで「世帯状況の変化によっては、加入継続できないかもしれない」が6.0%、「わからない」が5.0%となっている。



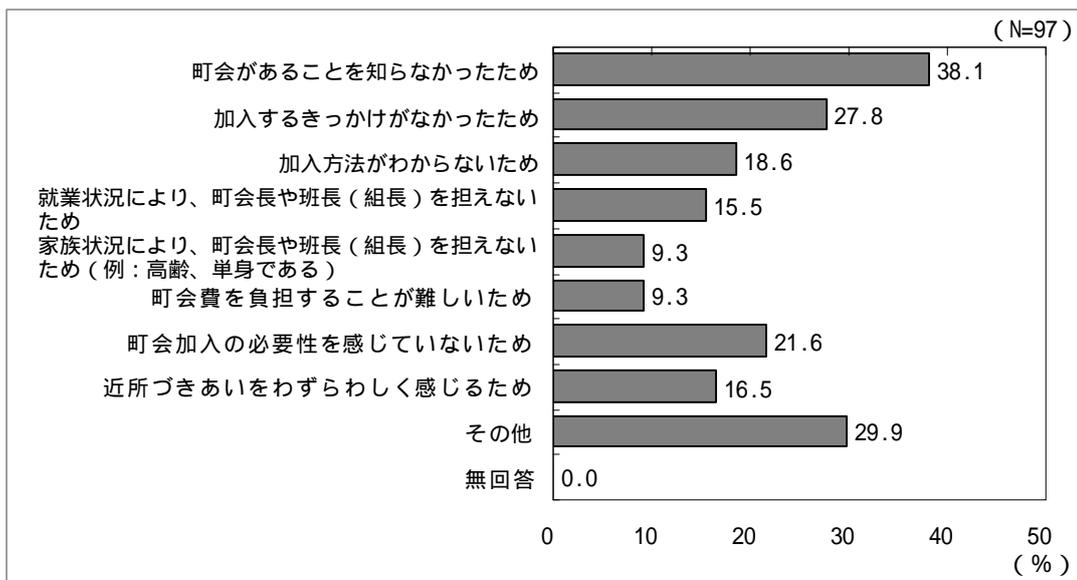
(8) 町会から退会した理由(複数回答)

- ・ 「その他」が40.5%と最も多く、ついで「家族状況の変化により、町会長や班長(組長)を担えなくなったため」が29.7%、「就業状況の変化により、町会長や班長(組長)を担えなくなったため」が18.9%となっている。
- ・ 「その他」として、「引越しのため」や「住んでいる場所には町会がない」といった回答があった。



(9) 町会に加入していない理由(複数回答)

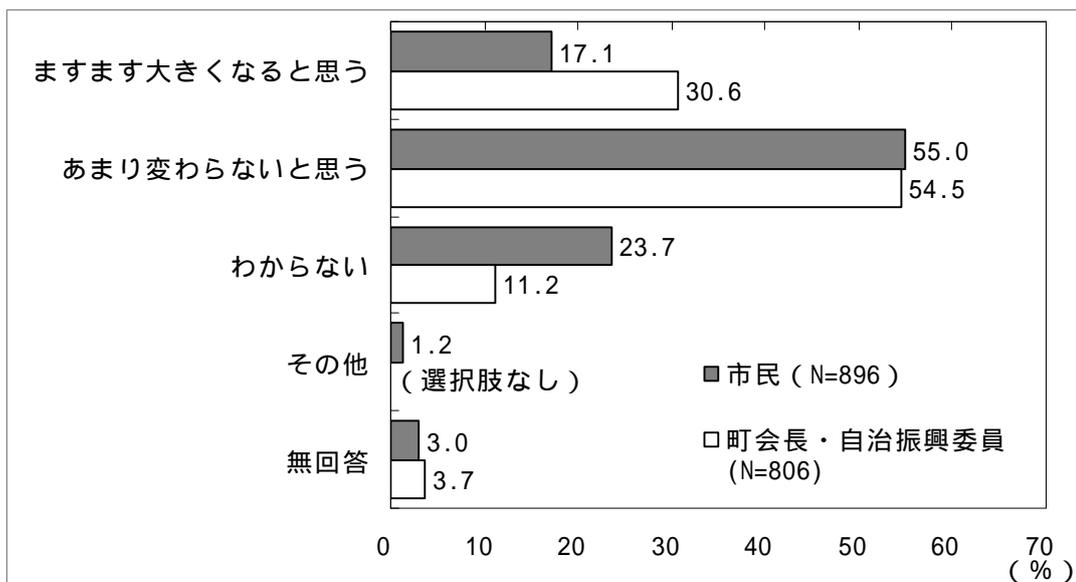
- ・ 「町会があることを知らなかったため」が38.1%と最も多く、ついで「その他」が29.9%、「加入するきっかけがなかったため」が27.8%となっている。
- ・ 「その他」として、「集合住宅である」ことや「いつまで八尾市に住むかわからない」「メリットがわからない」といった回答があった。



5. これからの町会活動の活発化に向けて

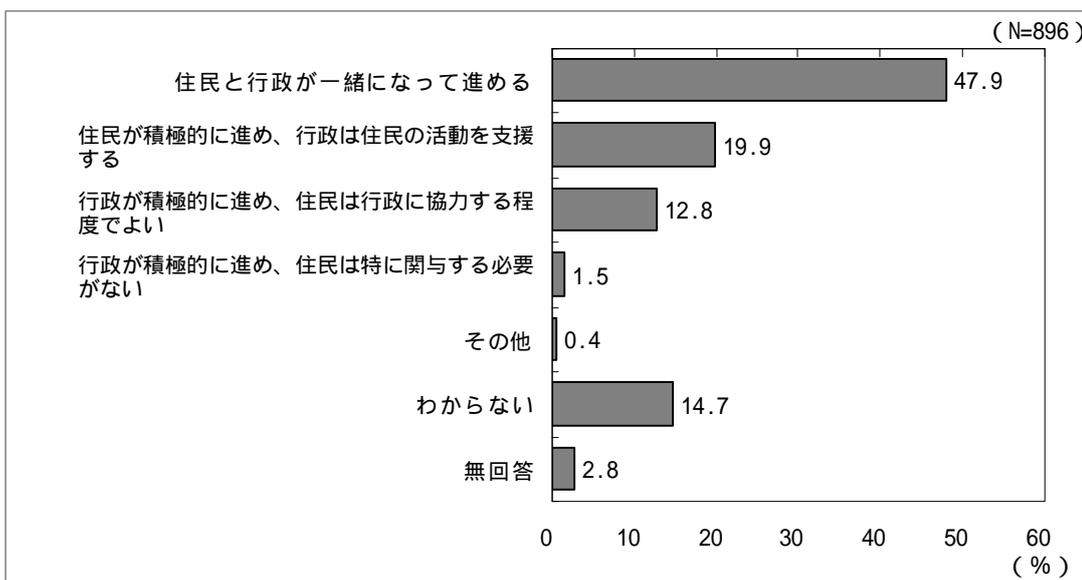
(1) 今後の町会が担う役割について

- ・ 「あまり変わらないと思う」が55.0%と最も多く、ついで「わからない」が23.7%、「ますます大きくなると思う」が17.1%となっている。
- ・ 町会長・自治振興委員アンケートと比較すると、「ますます大きくなると思う」は町会長・自治振興委員で多く、市民では「わからない」が多い。



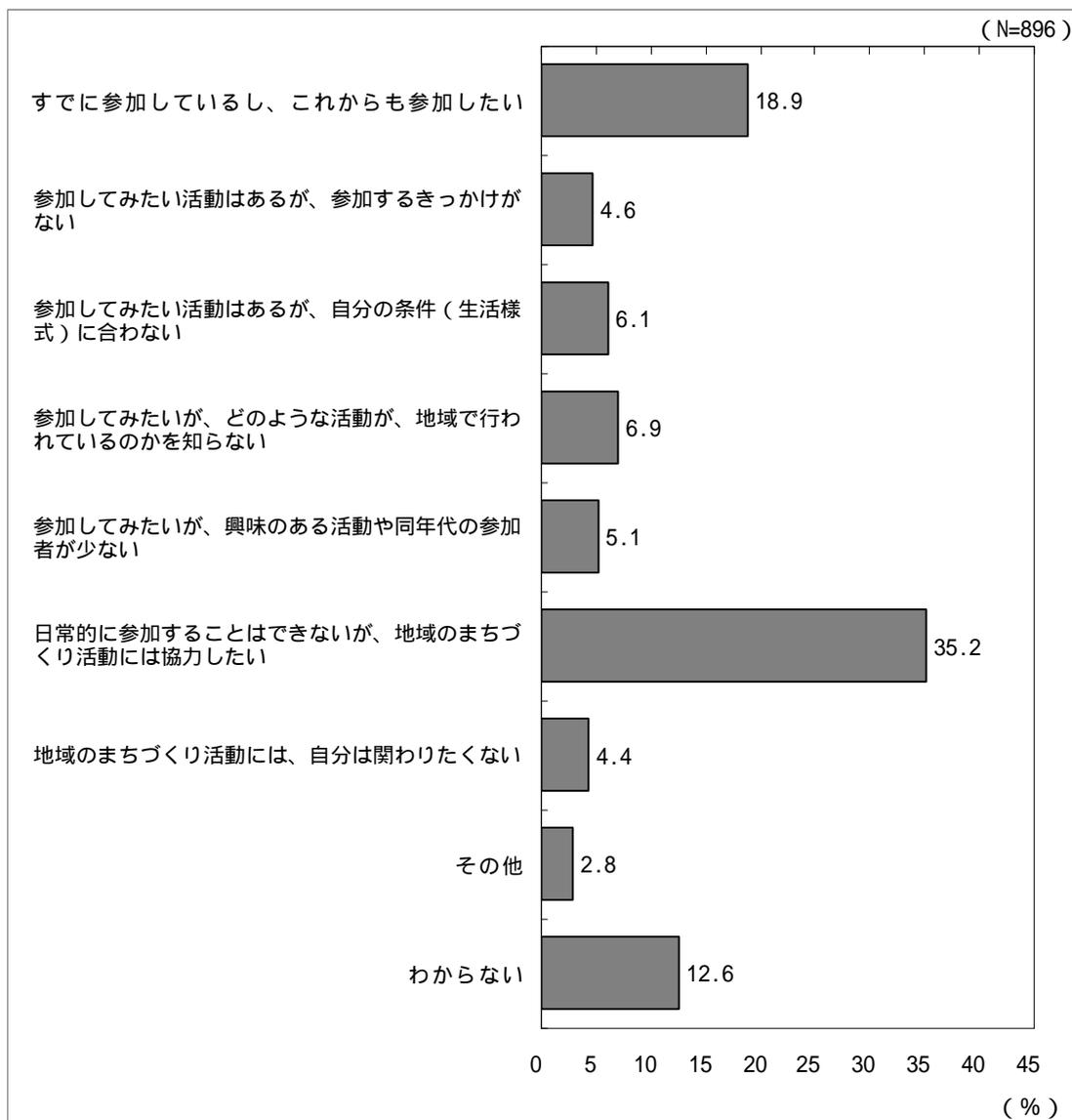
(2) 住民と行政の関係のあり方

- ・ 「住民と行政が一緒になって進める」が47.9%と最も多く、ついで「住民が積極的に進め、行政は住民の活動を支援する」が19.9%、「わからない」が14.7%となっている。



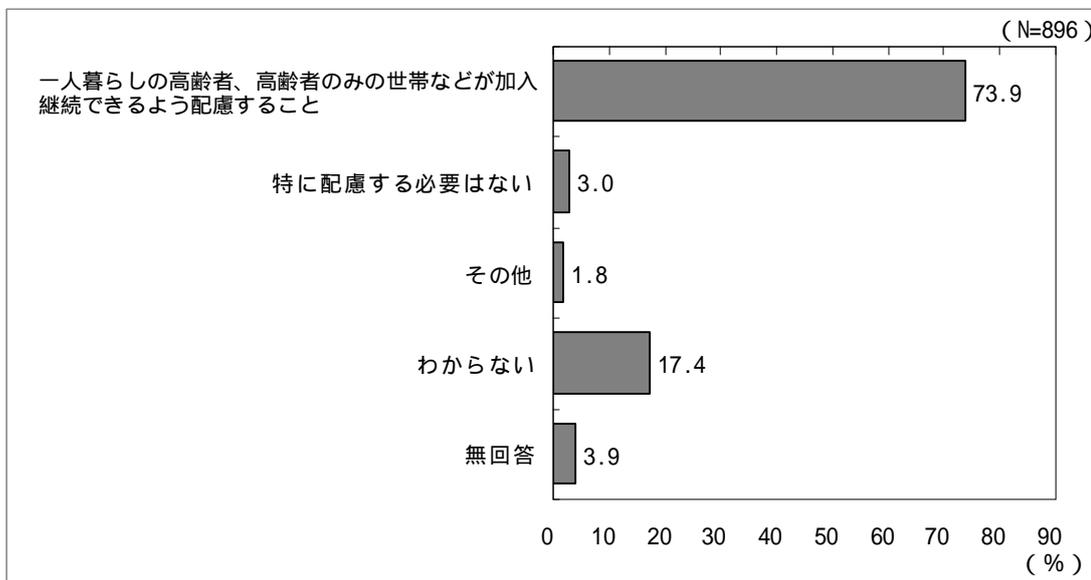
(3) 様々な地域のまちづくり活動への参加・協力について

・「日常的に参加することはできないが、地域のまちづくり活動には協力したい」が35.2%と最も多く、ついで「すでに参加しているし、これからも参加したい」が18.9%、「わからない」が12.6%となっている。



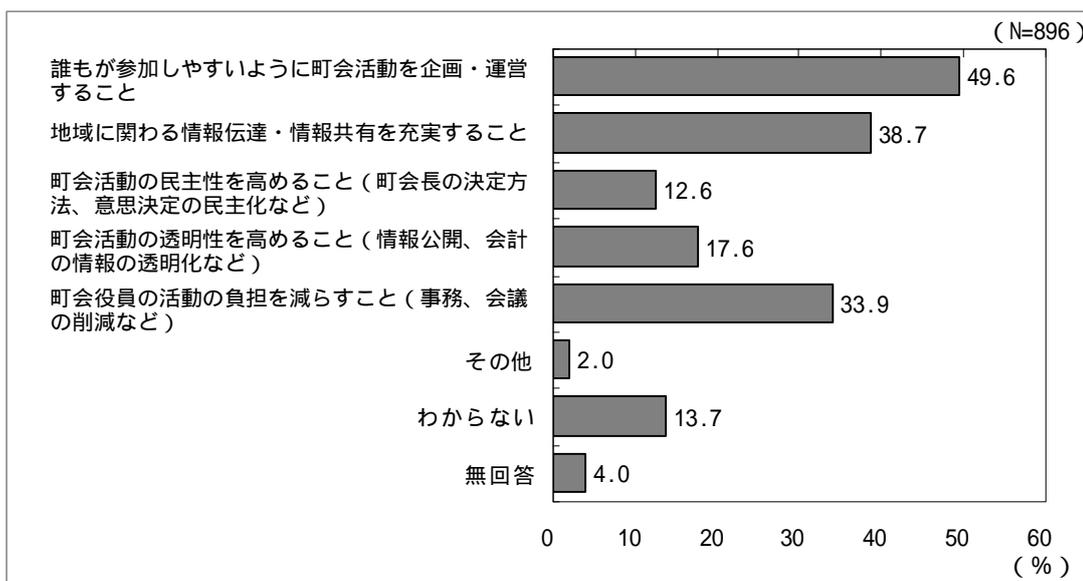
(4) 高齢者の世帯への配慮についての考え方

- ・ 「一人暮らしの高齢者、高齢者のみの世帯などが加入継続できるよう配慮すること」が73.9%と最も多く、ついで「わからない」が17.4%となっている。



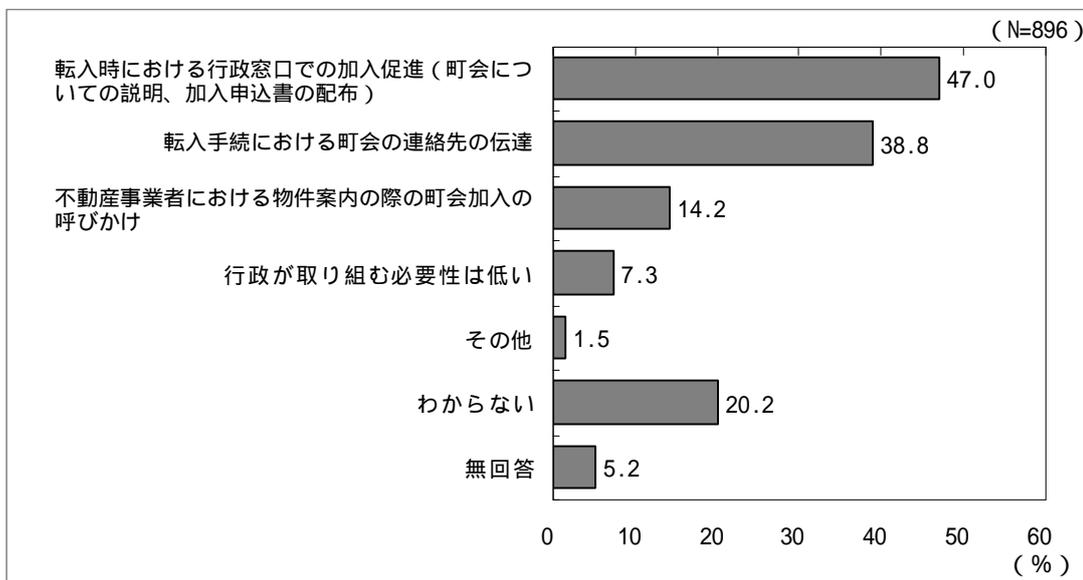
(5) 町会活動をより良くしていくために必要な活動 (複数回答)

- ・ 「誰もが参加しやすいように町会活動を企画・運営すること」が49.6%と最も多く、ついで「地域に関わる情報伝達・情報共有を充実すること」が38.7%、「町会役員の活動の負担を減らすこと(事務、会議の削減など)」が33.9%となっている。



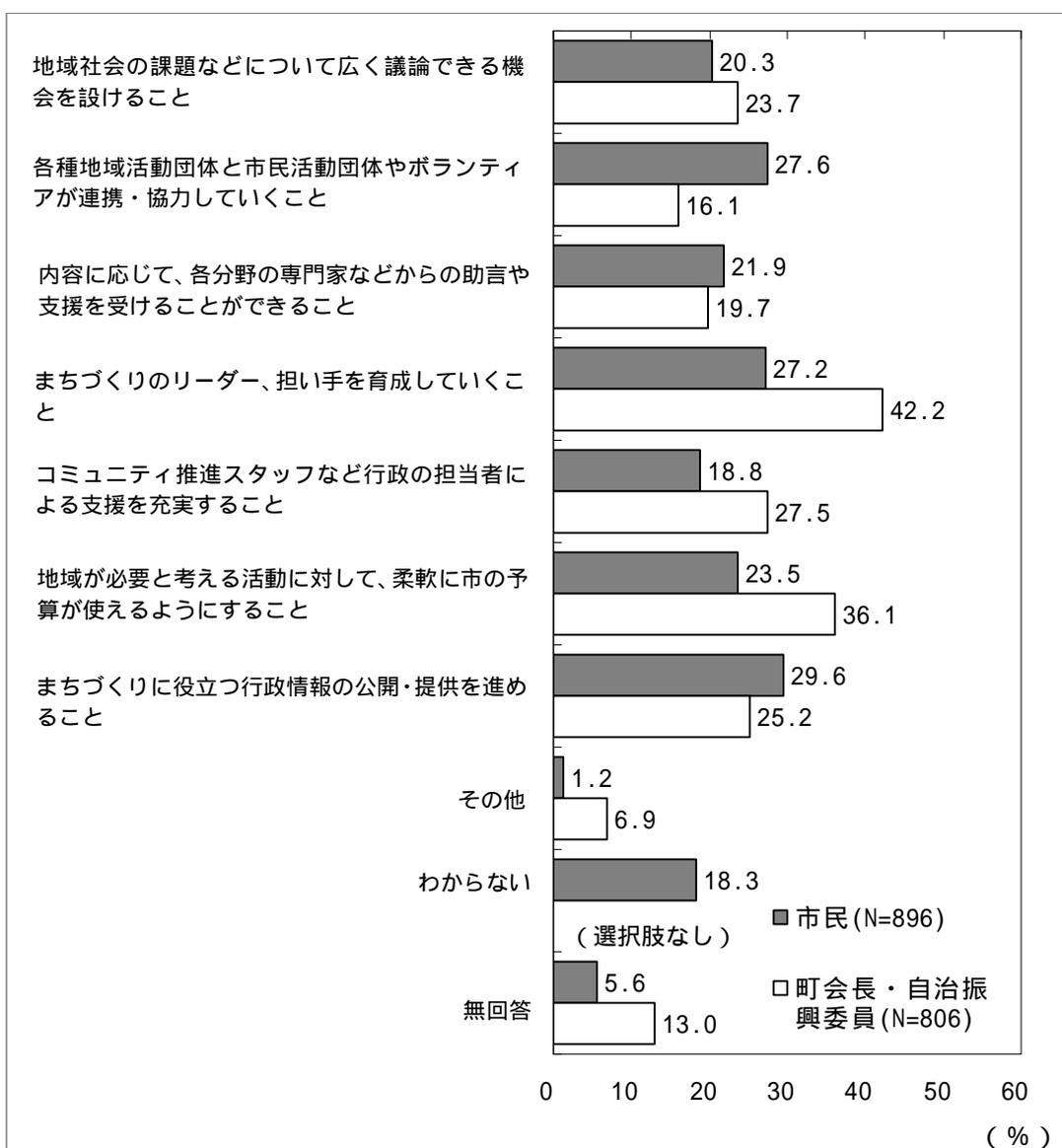
(6) 町会加入促進のために必要な行政の取り組み(複数回答)

- ・ 「転入時における行政窓口での加入促進(町会についての説明、加入申込書の配布)」が47.0%と最も多く、ついで「転入手続における町会の連絡先の伝達」が38.8%、「わからない」が20.2%となっている。



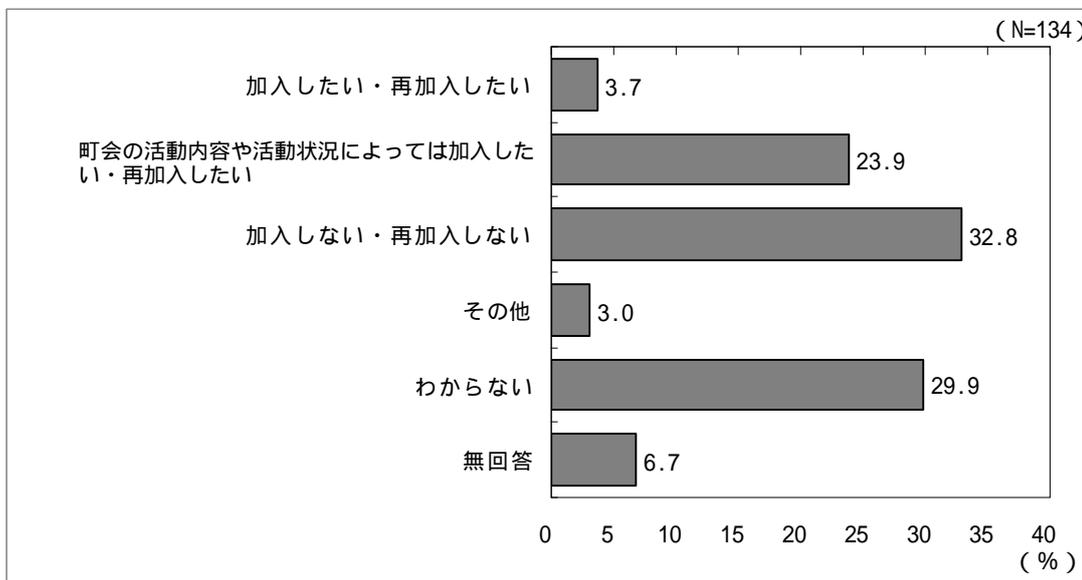
(7) 地域のまちづくり活動を活発にするために必要な取り組み(複数回答)

- ・ 「まちづくりに役立つ行政情報の公開・提供を進めること」が29.6%と最も多く、ついで「各種地域活動団体と市民活動団体やボランティアが連携・協力していくこと」が27.6%、「まちづくりのリーダー、担い手を育成していくこと」が27.2%となっている。
- ・ 町会長・自治振興委員アンケートと比較すると、市民アンケートでは、「各種地域活動団体と市民活動団体やボランティアが連携・協力していくこと」が11.5%高くなっているが、「まちづくりのリーダー、担い手を育成していくこと」は15.0%、「地域が必要と考える活動に対して、柔軟に市の予算が使えるようにすること」は12.6%低くなっている。



(8) 町会への加入・再加入の意向について

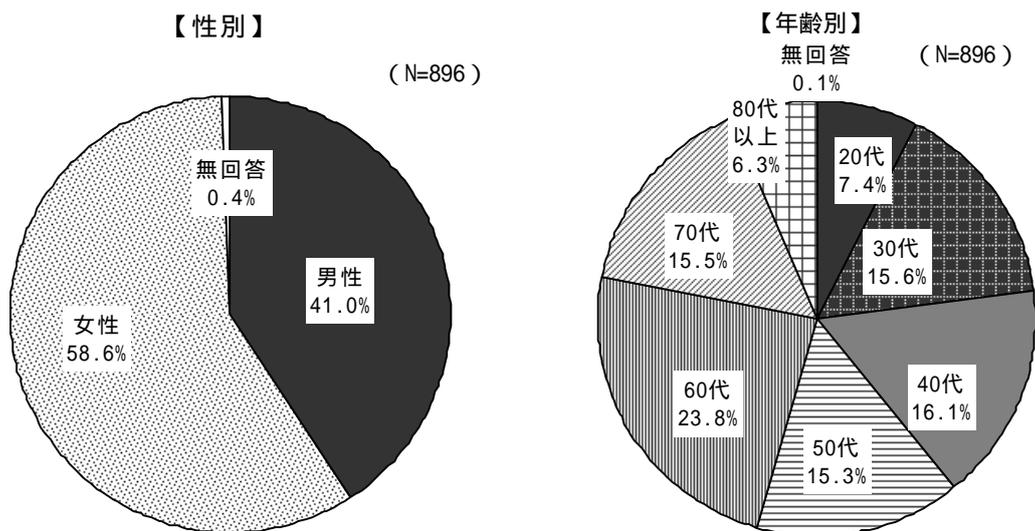
・ 「加入しない・再加入しない」が32.8%と最も多く、ついで「わからない」が29.9%、「町会の活動内容や活動状況によっては加入したい・再加入したい」が23.9%となっている。



6. 回答者の属性

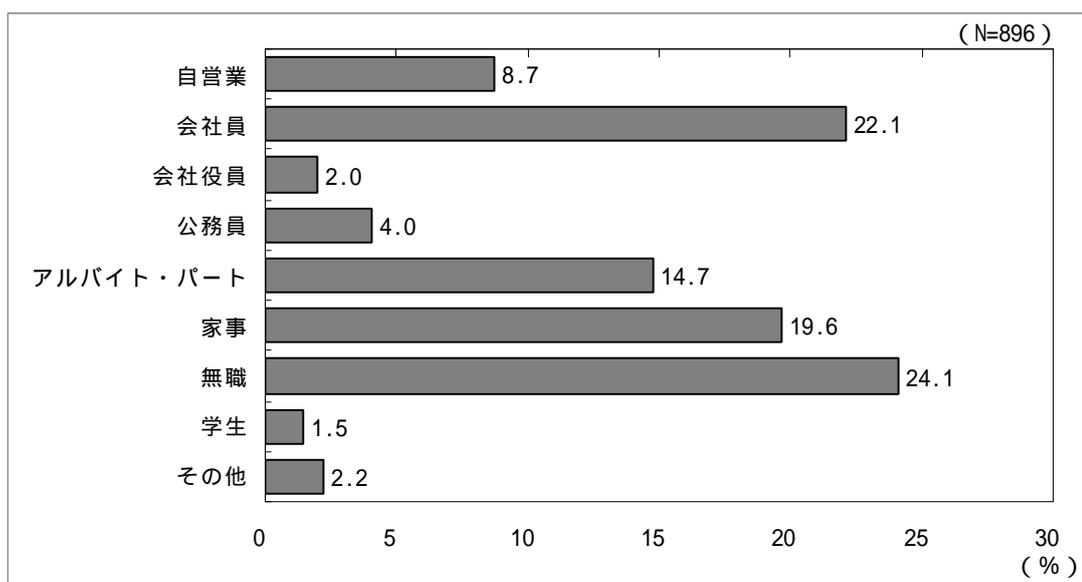
(1) 性別・年代

- ・性別は、「男性」が41.0%、「女性」が58.6%で、女性のほうが多い。
- ・年代は、「60代」が23.8%で最も多く、ついで「40代」が16.1%、「30代」が15.6%、「70代」が15.5%となっている。



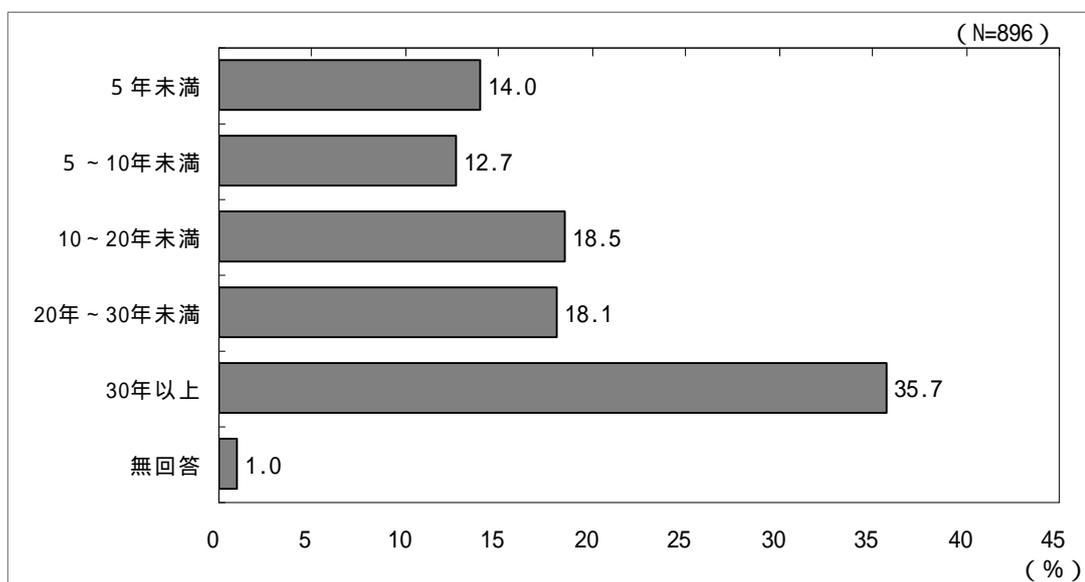
(2) 職業

- ・「無職」が24.1%で最も多く、ついで「会社員」が22.1%、「家事」が19.6%となっている。



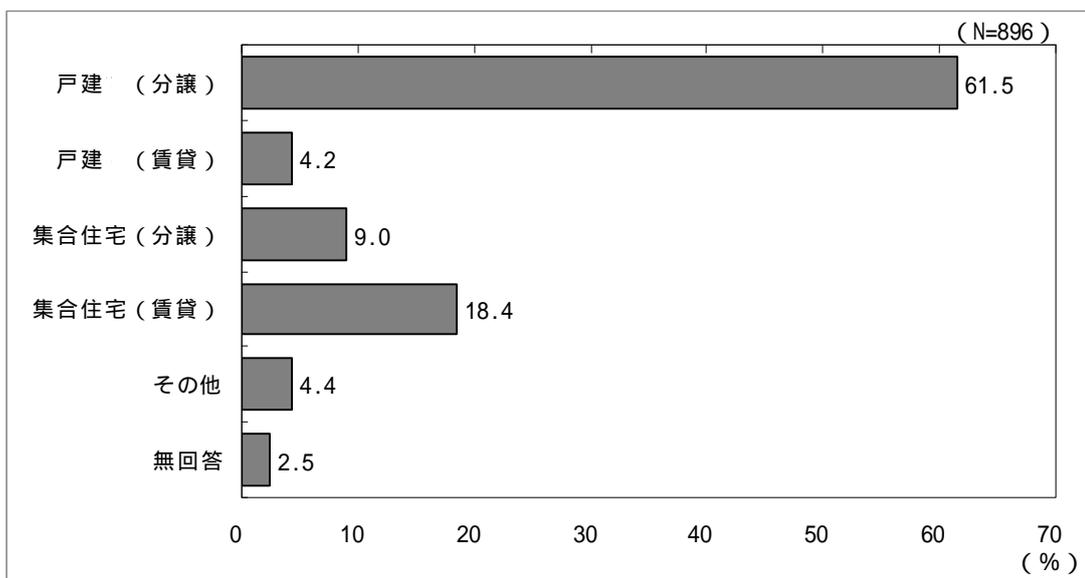
(3) 現在の地域（小学校区）での居住年数について

・「30年以上」が35.7%で最も多く、ついで「10～20年未満」が18.5%、「20～30年未満」が18.1%となっている。



(4) 現在の住居の種類について

・「戸建（分譲）」が61.5%で最も多く、ついで「集合住宅（賃貸）」が18.4%、「集合住宅（分譲）」が9.0%、「その他」が4.4%となっている。



(5) お住まいの地域(小学校区)について

- ・「南高安小学校区」が6.6%で最も多く、ついで「八尾小学校区」が5.9%、「志紀小学校区」が5.7%となっている。

